

# 三宮 十五郎 議員

## 日本共産党弥富市議団



# 異常な公共用地管理の改善を

## 法令に基づき適正に管理

**問** 監査委員の報告にどう対応されるか。

**答** 副市長 設置を確認した日から、これまでの間の使用料に相当する不当利得の返還と利息を請求通知した。

**問** なぜ公共用地の不法な占用が長期に放置されてきたか。

**答** 平成18年度に通告したが、その後の人事異動により引き継がれなかった。

**問** 副市長がその事実を知ったのはいつか。

**答** 本年6月ごろ。

**問** 他にもこのような占用や係争中の案件はあるのか。

**答** 開発部長 道路整備事業などに伴う土地の境界確認後に、構造物を越境させる事案や係争中案件はない。問題案件を共有し、系

統的に処理を進め、市民に公表しながら公正・公平な方法で公共財産を守るシステムの確立を。

**答** 弥富市公共用物管理条例や各種法令に基づき、各課適正に管理していく。

**問** 県内一高い水道料金引き下げを

**答** 再構築などの工事のための財源

**問** 海部南部水道企業団は、住民の要求などで経営体質の改善が進められ、民間企業と同じ方法で純資産と負債の合計の内、純資産の占める割合は平成30年度末で

87・8%と超優良企業となっている。別表の状況から見ても大幅な利益と値下げの条件があるが、水道企業団の特異な会計の仕組みで利益隠しが行われているのではないか。企業会計に詳しい識者の意見も参考に抜本的な改善と値下げを。

**答** 市長 今後10年間、大規模更新事業に加え、経年管の改修工事なども控えており、企業団経営環境は厳しい状況であり、安全で良質な水の安定的な供給使命を果たすため、適正な施設整備の推進、一層の業務の効率化と経費節減に努める。また、正副企業長として現行料金を一年でも永く継続できるような努力していくことが基本的な立場である。

【その他の質問】 地域防災の要 木曾川対策強化を

	起債残高	減価償却費	起債償還金	支払利息	償還金利息計
昭和63年度	1,962	264	46	131	177
平成10年度	4,020	461	152	240	392
平成20年度	3,577	500	164	150	314
平成30年度	1,529	631	273	48	320
令和4年度	1,218		89	27	116
令和8年度	1,405		76	31	107

平成20年度末償却資産 15,616百万円 減価償却費 500百万円 3.2%  
 平成30年度末償却資産 14,753百万円 減価償却費 631百万円 4.3%  
 平成30年度までは決算額。令和4・8年度は海部南部水道企業団議会での三宮議員からの質問に対する答弁より。